

環境公共プロフェッショナルとは

1 環境公共プロフェッショナルの役割

「環境公共」を契機に、農林漁業者、地域住民、団体、NPOなど多様な主体の参加の下に「地区環境公共推進協議会」という組織が設立されます。

この組織は、事業の構想から計画、実施、日常の維持管理の各段階において、事業主体である県との協議や連絡、各種活動への参加などを行います。

具体的には、生き物や植物などの環境調査、ワークショップなどで合意を図った計画づくり、工事に使用する資材の検討、直営施工（地域の皆さんが自らの力で行う工事）の検討・実施、日常の維持管理方法の検討などを行います。

「環境公共」プロフェッショナルは、こうした活動を行う際に生じた疑問や課題などについて、協議会からの求めに応じて、ボランティアとして専門的な見地からアドバイスをしていたく、言わば地域の専門家です。

2 環境公共プロフェッショナルの登録

今回、県内で62名の方を登録しています。

詳しくは、「環境公共プロフェッショナル登録バンク」を御覧ください。

【表-1】環境公共プロフェッショナル登録人数

管 内	登録人数
東青地域県民局管内	10名
中南地域県民局管内	10名
三八地域県民局管内	10名
西北地域県民局管内	10名
上北地域県民局管内	12名
下北地域県民局管内	10名
計	62名

3 環境公共プロフェッショナルの専門分野

自然環境をはじめ様々な専門分野の方を登録しています。

【表-2】環境公共プロフェッショナルの専門分野

区 分	専 門 分 野
自 然 環 境	動物（鳥類、哺乳類、両棲爬虫類、昆虫類、魚介類など）
	植物（樹木、草花、草木、山野草、藻類など）
	水環境（水質、陸水）、地質・地形、気象など
	ビオトープ、環境調査など
生 活 環 境	郷土の歴史・文化財、民俗学・民俗生活、藁工芸・藁文化など
	むらづくり、農山村づくりなど
産 業 ・ 技 術	農業、農業経営、農業環境、農業農村整備、農村環境、農村景観など
	林業、治山、森林土木、森林整備（造林・保育）など
	漁業、資源調査・管理、漁港・漁場（環境保全、藻場造成）など
そ の 他	ワークショップ運営、NPO活動、環境教育、森林教育など
	動植物観察、野外活動、自然体験、森林体験、漁業体験など
	デザイン、写真撮影など